

天満地区 (HOPEゾーン調査地区)

【地区の概要等】

1) 位置・規模等

- ・ 当地区は、北区の南部に位置し、北は国道1号線、南は大川・堂島川、東は谷町筋、西は阪神高速道路に囲まれた面積約44haの区域である。
- ・ 17年度国勢調査における地区内の人口は、総数6,860人であり、世帯数は4,048となっている。世帯数、人口ともに増加傾向にある。

2) 地域資源等

- ・ 地区内には大阪天満宮とその参道、天神祭の陸渡御ルートとなる道路や船渡御の出発点となる広場などが存在しており、天神祭の舞台ともいえる地域である。
- ・ 大川とともに栄え、水辺の暮らしがあった地区で、護岸が整備される以前は船が着岸できる浜であったことから、菅南町周辺には町家や蔵が残っていると同時に、現在でも敷地が河川敷に直接接するという稀有な都心の水辺居住地である。また、河川敷は天満市場の跡でもある南天満公園やふれあいの岸辺と呼ばれる親水性の高い護岸となっている。
- ・ 大阪天満宮に加え近年オープンした天満天神繁昌亭が地域の集客性を高めており、地区内の天神橋筋商店街や菅原町の町家店舗などを含め、来街者の散策ルートにもなっている。

3) 地域の活力、まちづくりの動き

- ・ 天神祭の鳳講が菅南連合により構成されているなど、江戸時代から続く地域コミュニティが現在の連合町会に受け継がれているため、地域への愛着が強く結束が固いコミュニティが天神祭をはじめ地域ごとの祭りなど様々な地域活動を支援している。
- ・ 天満天神繁昌亭とそれを支える天神橋筋商店街、NPO町街(まちがい)トラスト、天満音楽祭の活動など多様な組織が活動している。

【現在の取り組み状況】

- ・ 19年度～ 「天満地区HOPEゾーン事業整備方針策定調査」の実施
住宅やまちなみ資源等の現況調査、地域住民等の意向把握などを行いながら、天満地区でのHOPEゾーン事業の事業化に向けた整備方針策定のための検討を進めている。

【今後の予定】

- ・ 19年度末 整備方針の策定(国土交通大臣による「整備方針」の承認)
- ・ 20年度以降 事業計画策定調査の実施(国土交通大臣による「事業計画の同意」)、
地元協議会(天満地区HOPEゾーン協議会)の設立、
まちなみガイドラインの検討・作成、
まちなみ修景補助事業の実施 等

